

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-215367

(43)Date of publication of application : 27.08.1996

(51)Int.Cl.

A63B 71/14

(21)Application number : 07-022872

(71)Applicant : S S K:KK

(22)Date of filing : 10.02.1995

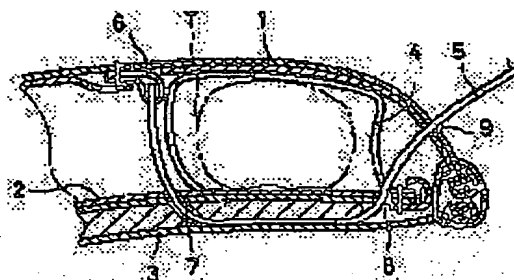
(72)Inventor : SASAKI KYOICHI

(54) GLOVE

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a glove capable of holding the whole thumb uniformly and supplying a satisfactory holding feeling to the thumb.

CONSTITUTION: A string 5 is inserted to an insertion member 6 on one side of a finger stopper 4, and both terminal parts of the string 5 are extended in a direction to intersect with the thumb T along the palm skin 3 of the glove, and it is protruded from the back skin 1 to the outside on the other side of the finger stopper 4. When both terminal parts of the string 5 are pulled, the back skin 1 and the palm skin 3 of the glove pulled to both sides of the thumb T, which holds the thumb T tightly. When a pulling force at both terminal parts of the string 5 is weakened and the back skin 1 is separated from the palm skin 3 of the glove, the holding force of the thumb T is weakened.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 10.02.1995

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 2608694

[Date of registration] 13.02.1997

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-215367

(43)公開日 平成8年(1996)8月27日

(51)Int.Cl.⁶

A 6 3 B 71/14

識別記号

庁内整理番号

F I

A 6 3 B 71/14

技術表示箇所

F

審査請求 有 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平7-22872

(22)出願日 平成7年(1995)2月10日

(71)出願人 391041590

株式会社エスエスケイ

大阪府大阪市中央区上本町西1丁目2番19号

(72)発明者 佐々木 恭一

芦屋市六蔵荘町4番8号

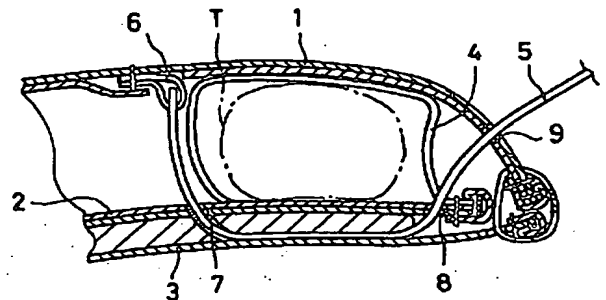
(74)代理人 弁理士 飯田 文二 (外2名)

(54)【発明の名称】 グラブ

(57)【要約】

【目的】 親指全体を均等に保持し、親指に良好な保持感覚を与えるグラブを提供する。

【構成】 指止め4の一方において挿通部材6に紐5を挿通し、紐5の両端部を掌皮3に沿って親指Tと交差する方向に延長し、指止め4の他側方において甲皮1から外部に突出させる。紐5の両端部を引っ張ると、甲皮1と掌皮3とが親指Tの両側方で引き寄せられ、親指Tが強く保持される。紐5の両端部の引っ張りを弱め、甲皮1と掌皮3とを離反させると、親指Tの保持力が弱くなる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 甲皮1と、内面に中皮2を有する掌皮3との間に親指Tを保持する指止め4を設け、その指止め4の一侧方において甲皮1の裏面に紐5が挿通された挿通部材6を設け、その挿通部材6から両方向に突出する前記紐5の両端を中皮2に設けた一対の挿通孔7に挿通し、中皮2と掌皮3の間において前記紐5の両端部を親指Tと交差する方向に延長し、前記指止め4の他側方において中皮2及び甲皮1にそれぞれ一対設けた挿通孔8、9に前記紐5の両端を挿通し、その紐5の両端部を甲皮1の表面側で結び合わせたグラフ。

【請求項2】 甲皮1と、内面に中皮2を有する掌皮3との間に親指Tを保持する指止め4を設け、その指止め4の一侧方において甲皮1に設けた一対の挿通孔10に甲皮1の表面側から裏面側へ紐5の両端を挿通し、その紐5の両端を中皮2に設けた一対の挿通孔7に挿通し、中皮2と掌皮3の間において前記紐5の両端部を親指Tと交差する方向に延長し、前記指止め4の他側方において中皮2及び甲皮1にそれぞれ一対設けた挿通孔8、9に前記紐5の両端を挿通し、その紐5の両端部を甲皮1の表面側で結び合わせたグラフ。

【請求項3】 甲皮1と掌皮3との間に親指Tを保持する指止め4を設け、その指止め4の一侧方において甲皮1の裏面に紐5が挿通された挿通部材6を設け、その挿通部材6から両方向に突出する前記紐5の両端を掌皮3に設けた一対の挿通孔11に挿通し、掌皮3の表面に沿って前記紐5の両端部を親指Tと交差する方向に延長し、前記指止め4の他側方において掌皮3及び甲皮1にそれぞれ一対設けた挿通孔12、9に前記紐5の両端を挿通し、その紐5の両端部を甲皮1の表面側で結び合わせたグラフ。

【請求項4】 甲皮1と掌皮3との間に親指Tを保持する指止め4を設け、その指止め4の一侧方において甲皮1に設けた一対の挿通孔10に甲皮1の表面側から裏面側へ紐5の両端を挿通し、その紐5の両端を掌皮3に設けた一対の挿通孔11に挿通し、掌皮3の表面に沿って前記紐5の両端部を親指Tと交差する方向に延長し、前記指止め4の他側方において掌皮3及び甲皮1にそれぞれ一対設けた挿通孔12、9に前記紐5の両端を挿通し、その紐5の両端部を甲皮1の表面側で結び合わせたグラフ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、野球及びソフトボールに使用するグラフに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 親指に適度な保持力を与えるため、一般に、従来のグラフは、図7及び図8に示すような構成とされている。

【0003】 図示のように、甲皮50と、内面に中皮5

1を有する掌皮52との間には、親指Tの一侧を保持する指止め53が設けられている。中皮51と掌皮52の間には紐54の中間部が固定され、この紐54の両端は、中皮51に設けられた一対の挿通孔55に挿通されている。指止め53は筒状となっており、指止め53の内部は甲皮50の内部と連通している。前記紐54の両端部は、指止め53に挿通され、甲皮50の内部で親指Tと交差する方向に延長されて、甲皮50の表面側に設けられた一対の孔56から外部に突出している。

10 【0004】 上記のようなグラフにおいて親指Tの保持力を強めるには、孔56から突出する紐54の両端部を引っ張り、その状態で紐54の両端部を結び合わせる。一方、親指Tの保持力を弱めるには、紐54の引っ張りを弱めた状態で紐54の両端部を結び合わせる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記のようなグラフでは、親指の保持力の調整が親指の一侧方だけで行われるため、親指に良好な保持感覚を与えることが難しかった。

20 【0006】 そこで、この発明は、親指全体を均等に保持し、親指に良好な保持感覚を与えるグラフを提供することを課題とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】 上記の課題を解決するため、この発明は、甲皮1と、内面に中皮2を有する掌皮3との間に親指Tを保持する指止め4を設け、その指止め4の一侧方において甲皮1の裏面に紐5が挿通された挿通部材6を設け、その挿通部材6から両方向に突出する前記紐5の両端を中皮2に設けた一対の挿通孔7に挿通し、中皮2と掌皮3の間において前記紐5の両端部を親指Tと交差する方向に延長し、前記指止め4の他側方において中皮2及び甲皮1にそれぞれ一対設けた挿通孔8、9に前記紐5の両端を挿通し、その紐5の両端部を甲皮1の表面側で結び合わせたのである。

【0008】 また、挿通部材6を省略し、指止め4の一侧方において甲皮1に設けた一対の挿通孔10に甲皮1の表面側から裏面側へ紐5の両端を挿通してもよい。

40 【0009】 さらに、紐5の両端部を中皮2と掌皮3の間に通さず、紐5の両端を掌皮3に設けた一対の挿通孔11に挿通し、掌皮3の表面に沿って前記紐5の両端部を親指Tと交差する方向に延長し、前記指止め4の他側方において掌皮3に設けた一対の挿通孔12に前記紐5の両端を挿通してもよい。

【0010】

【作用】 この発明に係るグラフでは、指止め4の一侧方において挿通部材6または甲皮1に紐を挿通し、その紐5の両端部を掌皮3に沿って親指Tと交差する方向に延長し、指止め4の他側方において甲皮1から外部に突出させたので、紐5の両端部を引っ張ると、甲皮1と掌皮3とが親指Tの両側方で引き寄せられ、親指Tの保持力

が強くなる。

【0011】一方、紐5の両端部の引っ張りを弱め、甲皮1と掌皮3とを離反させると、親指Tの保持力が弱くなる。

【0012】

【実施例】以下、この発明の実施例を添付図面に基づいて説明する。図1乃至図3に示すように、甲皮1と、内面に中皮2を有する掌皮3との間に親指Tを保持する指止め4が設けられている。指止め4の側方において、甲皮1の裏面には細い皮の紐5が挿通された筒状の挿通部材6が設けられており、挿通部材6から両方向に突出する紐5の両端は、中皮2に設けた一对の挿通孔7に挿通されている。紐5の両端部は、中皮2と掌皮3との間において親指Tと交差する方向に延長され、指止め4の他側方において、中皮2に設けられた一对の挿通孔8に挿通されて、甲皮1の表面側に設けられた一对の挿通孔9から外部に突出している。

【0013】上記のようなグラフでは、挿通孔9から突出する紐5の両端部を引っ張ると、甲皮1と掌皮3とが親指Tの両側方で引き寄せられ、親指Tが強く保持される。

【0014】一方、紐5の両端部の引っ張りを弱め、甲皮1と掌皮3とを離反させると、親指Tの保持力が弱くなる。

【0015】最適な保持感覚が得られるように親指Tの保持力を調整した後、その状態で紐5の両端部を結び合わせ、甲皮1と掌皮3の位置関係を固定する。

【0016】また、図4に示すように、挿通部材6を省略し、指止め4の側方において甲皮1に設けた一对の挿通孔10に甲皮1の表面側から裏面側へ紐5の両端を挿通してもよい。

【0017】さらに、図5及び図6に示すように、紐5の両端部を中皮2と掌皮3の間に通さず、紐5の両端を

掌皮3に設けた一对の挿通孔11に挿通し、掌皮3の表面に沿って紐5の両端部を親指Tと交差する方向に延長し、指止め4の他側方において掌皮3に設けた一对の挿通孔12に紐5の両端を挿通してもよい。この場合、中皮2は省略できる。

【0018】なお、図5は紐5が挿通部材6に挿通されたものであり、図6は紐5が甲皮1に設けた一对の挿通孔10に挿通されたものである。

【0019】

10 【効果】この発明によると、上記のような構成としたので、親指の両側方において親指の保持力の微妙な調整が可能となり、親指全体が均等に保持されて、良好な保持感覚を得ることができる。

【0020】また、捕球時に親指の動きを正確にグラフに伝えることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施例の正面図

【図2】同上の要部拡大側面図

【図3】同上の一部切欠要部拡大正面図

20 【図4】他の実施例の要部拡大側面図

【図5】他の実施例の要部拡大側面図

【図6】他の実施例の要部拡大側面図

【図7】従来例の正面図

【図8】同上の要部拡大側面図

【符号の説明】

1 甲皮

2 中皮

3 掌皮

4 指止め

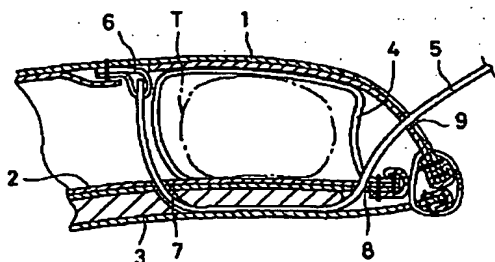
30 5 紐

6 挿通部材

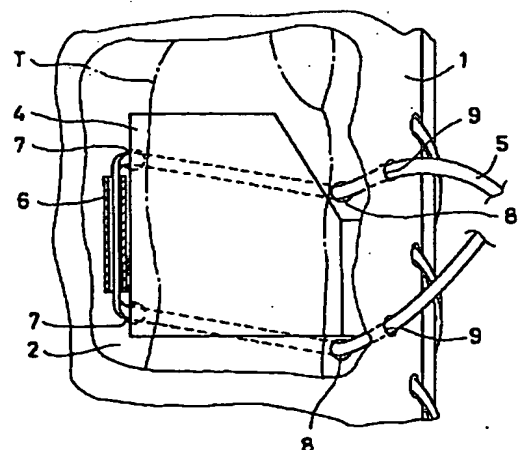
7、8、9、10、11、12 挿通孔

T 親指

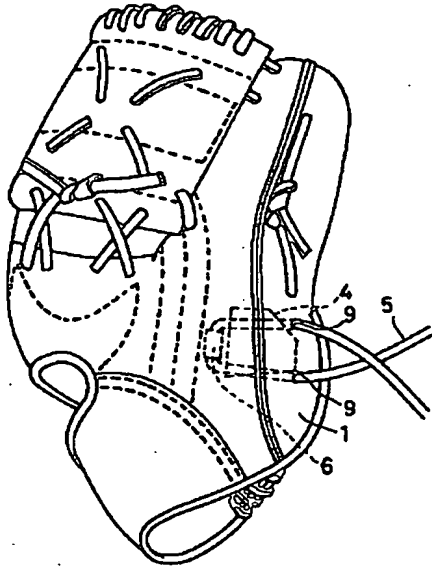
【図2】



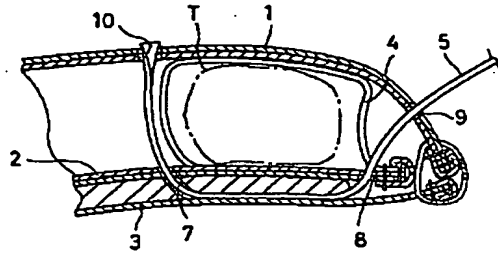
【図3】



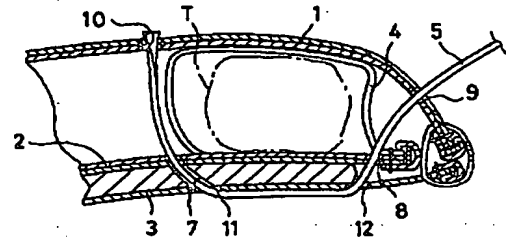
【図1】



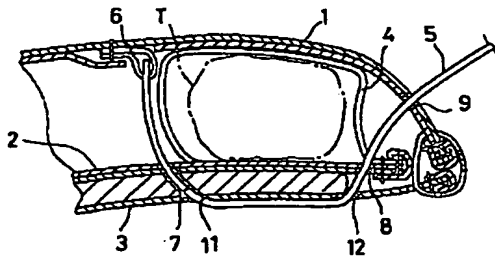
【図4】



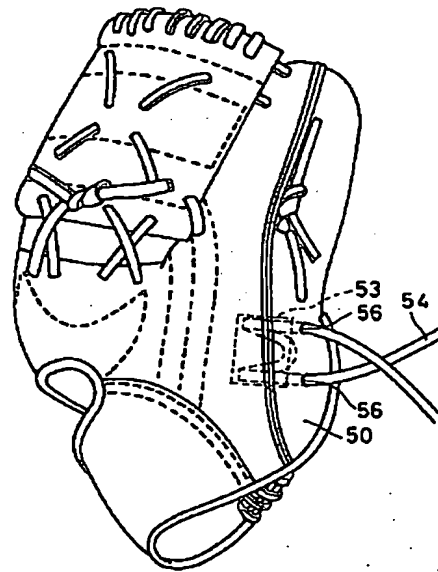
【図6】



【図5】



【図7】



【図8】

